

寄稿

世界の樹木シリーズ (マダガスカル)

樹木医 有田和實

世界の樹木シリーズの5番目は、夢のある童話『星の王子様』に出てくるバオバブの樹が多く生育しているマダガスカルからの報告です。



(パキラの花)

アフリカ大陸の南東、インド洋に浮かぶ神秘の島・マダガスカル。

島の大きさは、日本の1.6倍の広さがあり、島東部は常緑性高木の密生する熱帯雨林が発達し、植物の種類が多い。



中央高地は草原に硬葉樹林やヒース状植生がパッチ上に点在し、基盤岩の露頭に多い多肉植物を主とする植生が特徴である。西部は、高地から連なる斜面と沿岸部に大別され、前者には草原やヤシの点在するサバンナがみられ、後者は乾季落葉性樹林が発達し、バオバブが多くみられる地域である(トピックフォト(1)参照)。

バオバブ (*Adansonia*) は8種あるといわれている。一般にマダガスカルで見られるのは7種。

- A. grandidieri* *A. alba*
- A. suarezensis* *A. digitata*
- A. fony* *A. perrieri*
- A. madagascariensis*



(Ankiliolia 部落の若者たち
彼等が御神木を守っている)



(落日の *A. grandidieri* : Morombe にて)



(バオバブの並木道: Morondava にて。
同じ *A. garandidieri* でも生育土壌
条件でこんなに樹高の違いが出る)



(ディディエレア・トローリー (金棒の木)
Alluaudia の仲間は 4 属 11 種すべて
マダガスカル特産植物)



(石灰岩地帯のバオバブ。バオバ
ブの樹上で高野樹木医と)



(2 年前に倒れたバオバブ主幹の断面。
繊維状 (布状) になっている。)



(白豆・ピーナツに交じってバオバブの果実を売っ
ている (200 アリア=12 円) 早朝の市場: Morombe)

マダガスカル共和国首都

アンタナナリボ (Antananarivo) は南北
に延びる国土のほぼ中央、標高 1,400m 以
上の高原に位置しているため、朝晩は少し
肌寒い気候である。街の中心地に位置する
アヌシ湖 (Lac Anosy) の周りは、11 月ジ
ャカラングの並木が満開であった (トピッ
クフォト (1))。